



え い ち 叡智と愛 3.0

白杵市立北中学校
校長通信 NO.21
令和8年9月16日
文責:戸高浩二

北中生へ 後期生徒会役員選挙 立会演説会を終えて

立候補者・応援者へ

会長2名、副会長6名、議長6名、計14名の立候補者の演説を聴いた。北中のために立ち上がった情熱と勇氣に拍手を送りたい。全校生徒を前にステージの上で自らの思いを訴えるのは簡単なことではない。「北中をさらに最強の学校にしたい」「北中のために自分の力をつかいたい」そういう熱い思いがあったから、あの舞台に立てたのだろう。



立候補者全員、北中をさらに最強の学校にするための公約が良かった。全校生徒が一つになり、同じ目標に向かって取り組むホールを使ったレクや挨拶・清掃活動。学校生活を豊かにするための放送や新聞の発行。これら一つ一つの公約が実現すれば、間違いなく北中はワンランク上の最強の学校になると感じた。

そして今日、結果が発表された。当選した立候補者。有言実行！自ら掲げた公約を必ず実現してほしい。今年度の北中は君たちの力にかかっている。

惜しくも当選できなかった立候補者。今回の挑戦は決して無駄ではない。これからの人生の力となる。生徒会選挙に2回立候補し、2回当選できなかった私が言うのだから間違いない。別の形で君たちの力を、最強の北中をつくるために発揮してほしい。

立候補者と一緒にステージに立った14名の応援者。これまで朝の選挙活動やポスター・公約づくりなど、立候補者と共に考え、行動してきた。立候補者にとって最強の味方である君たちの応援は心強く感じたはずだ。今回の応援で立候補者との絆をさらに深めるとともに、表現力などの力が付いた。

選挙管理委員へ

これまでの準備、お疲れ様でした。放課後残って打ち合わせをしたり、掲示物を作ったり、自らの時間を削ってまで準備をしてくれてありがとう。そして立会演説会当日。司会をはじめ・おわりの言葉、諸注意の説明なども見事だった。全校生徒が集まる前から選挙管理委員の席で、最後の確認や自分が話す練習をする姿を見た。「立候補者のため、北中のために選挙を成功させる」という思いが伝わった。その思いと行動力があったからこそ、選挙が無事、開催できた。

陰で支える人は、清く尊い。

全校生徒へ

立候補者・応援者の演説を聴く態度が、最高に良かった。立候補者・応援者を真剣な眼差しで見つめる目。頭を動かすことなく、演説を聞き入る姿勢。教員になって20年以上経つが、これほど真剣に演説を聴く姿を見たのは初めてかもしれない。

それは、立候補者・応援者の思いをしっかりと受け止めようとする温かい心があったからだ。

そして、立候補者・応援者と一緒に最強の北中をつくるという熱い思いがあったからだ。

あの時間、北中生全員が一つになった。

あの体育館の空気は実に清々しく心地よかった。

まず、隗より始めよ～ワンランク上の最強の北中を目指して～

「まず、隗より始めよ」とは、大きな事をするには、まず身近な事から始めなさいという言葉だ。

生徒会役員選挙が終わった。今後、専門委員長も決まるだろう。生徒会執行部の人たちは、ワンランク上の最強の北中をつくるために、まず、それぞれ自分が出来る小さな仕事を確実に実行してほしい。

そして、生徒会執行部以外の人たちは、全力で協力してほしい。

北中生179名が一つになって、ワンランク上の最強の北中を創るんだ！